

平成22年3月16日
消費者庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件
(うちガスこんろ(都市ガス用)1件、石油ストーブ(開放式)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故 7件
(うち歩行補助車1件、靴(パンプス)1件、介護ベッド用手すり1件、電気ストーブ(ハロゲンヒーター)2件、生ごみ処理機1件、電気温風機(セラミックファンヒーター)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 7件
(うち電気冷蔵庫1件、IH調理器2件、電気式床暖房(ヒーターパネル)1件、歩行補助車1件、エアコン(室外機)1件、自転車1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、審議を予定している案件
該当案件なし

※1.～4.の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。
6. 特記事項
(1)パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すり
(管理番号A200800211)
①消費者への注意喚起
パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すり(スイングアーム)

で、使用者がスイングアーム内のすき間に頭が入り込んだ状態で発見される事故が平成20年5月25日に発生しました。当該製品のスイングアーム部には、縦が約15cm、横が約34cmのすき間があり、頭が入り込んでしまう可能性のある構造でした。パラマウントベッド株式会社では、平成13年10月から当該製品のすき間を埋めるためのT字型の簡易部品を無償で配布しておりましたが、事故発生時、当該病院には配布されておりました。

スイングアーム内のすき間への頭部の入り込みを防止する安全対策として、スイングアーム内のすき間を埋めるT字型の簡易部品（樹脂製）が、事業者により無償で供給されております。同様なスイングアームをご使用されている場合は、事業者にご連絡いただき、同簡易部品を取り寄せ、必ず使用して下さい。

また、平成21年3月に介護ベッドの日本工業規格（JIS）が改正され、頭・首の挟み込み事故を防ぐためのすき間の基準強化が図られています。安全のため、可能な限り、改正されたJISに対応した製品をご使用下さい。

日本福祉用具・生活支援用具協会及び医療・介護ベッド安全普及協議会においては介護ベッドのサイドレール・手すり等による事故等についての注意喚起の呼びかけを行っておりますのでご覧下さい。

（日本福祉用具・生活支援用具協会のホームページ）

URL：<http://www.jaspa.gr.jp/news/080205.pdf>

（医療・介護ベッド安全普及協議会のホームページ）

URL：http://www.v-net.co.jp/bed-anzen/n_bed-anzen_index.html

(2) ヤンマー株式会社が製造した生ごみ処理機

（管理番号A200900600）（経済産業省と同時公表）

① 事故事象及び再発防止策について

ヤンマー株式会社が平成20年3月5日から実施しているリコール（無償改修）で対策を実施した同社製生ごみ処理機を屋外で使用中に、製品から発火し、家屋の一部に延焼する事故が平成21年10月8日に発生しました。

当該製品は、貝殻等の硬い物を投入して攪拌すると処理槽に穴が開き、その後、ヒーター線がショートし、処理槽の断熱材に着火するおそれがあったため、難燃性の高い断熱材を貼り付ける改修作業を平成20年3月のリコール対策として行っていたのですが、調査の結果、ヒーター線の浮き上がりや損傷により局部的な発熱が生じることにより、断熱材が劣化し、難燃性能が低下してしまうため、同様に処理槽に穴が開き、ショートした際に、断熱材に着火するものと考えられました。

なお、同様な対策済品の事故は1件（非火災、人的被害なし）発生しています。

このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、本日プレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、無償で他社製の代替品と製品交換を実施することとしました。

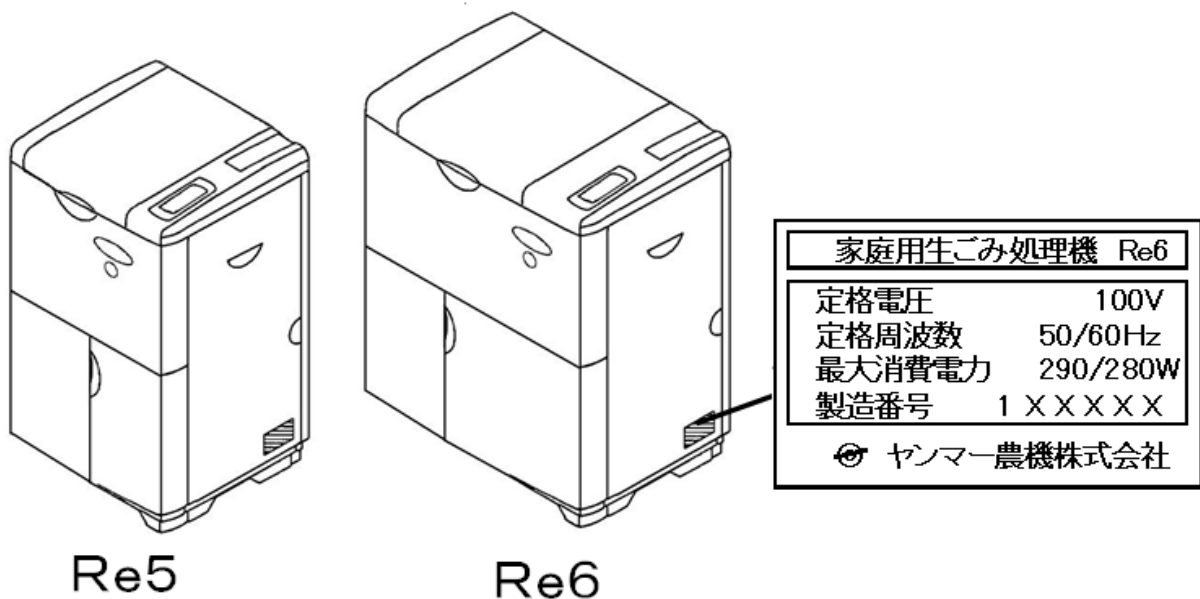
（参考）平成20年3月のリコールまでに、3件の事故（いずれも非火災、人的被害無し）が、発生しています。

②対象製品：製品名、型番、製造番号、製造期間及び対象台数

製品名：生ごみ処理機 ヤンマーたべ丸エース

型番	製造番号	製造期間	対象台数
Re5	100001～113244	1999年5月28日～2002年10月9日	13,244
Re6	100001～106695	1999年11月29日～2002年11月26日	6,695
計			19,939

対象製品の確認方法：



③事業者の対応

代替品との無償製品交換を行う。

④事業者の告知

プレスリリース：3月16日（火）

ホームページへの情報掲載：3月17日（水）

⑤消費者への注意喚起

上記の対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止していただき、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

（ヤンマー株式会社家庭用生ごみ処理機お客様コールセンターの問い合わせ先）

電話番号：0120-310-309

受付時間：9時～17時（平成22年3月17日から3月31日まで毎日）

9時～17時（平成22年4月1日以降、土日祝日を除く）

ホームページ：<http://www.yanmar.co.jp/>

インターネットによる受付も行っております。

(本発表資料の問い合わせ先)
消費者庁消費者安全課 (製品事故情報担当)
担当：中嶋、服部、榎本
電話：03-3507-9204 (直通)

(パラマウントベッド株式会社が製造した介護ベッド用手すりに関する問い合わせ先)
経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室
担当：横田、中村、鈴木
電話：03-3501-1707 (直通)

(ヤンマー株式会社が製造した生ごみ処理機に関する問い合わせ先)
経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室
担当：横田、吉津、山崎
電話：03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200901117	平成22年3月3日	平成22年3月11日	ガスこんろ(都市ガス用)	RBG-N31A8GS1R	リンナイ株式会社	火災	調理油過熱防止装置の付いた側のこんろで鍋に油を入れ点火後、その場を離れ戻ったところ、鍋から発煙・出火する火災が発生していた。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
A200901120	平成22年2月26日	平成22年3月12日	石油ストーブ(開放式)	KB-C22(三菱電機株式会社ブランド)	シャープ株式会社(三菱電機株式会社ブランド)	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。	東京都	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200800068	平成20年4月2日	平成20年4月17日	歩行補助車	ヘルスパック ライトミニ	象印ベビー株式会社	重傷1名	当該製品を使用中に道の段差部分で折りたたまれ、転倒して重傷を負った。 当該製品は折りたたみ式で使用に当たっては、レバー(持ち手部分)を引き上げて開くと1次ロックが掛かり、更に1次ロックが解除されることを防ぐ固定用の2次ロックを掛け2段階で固定するものである。 事故原因は、レバーを引き上げて開く際にゆっくりした動作で行うと、1次ロックが掛かる手前で重くなり、ロックされたように誤認し、1次ロックが不完全な状態で、2次ロックを掛けて使用したために、前輪が段差に当たった衝撃で車体が折りたたまれ、前方に転倒したものと考えられる。	東京都	平成20年4月22日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A200800170	平成20年4月13日	平成20年5月20日	靴(パンプス)	1272-5101-115 (株式会社ニッセンブランド)	橋本産業株式会社 (株式会社ニッセンブランド)	重傷1名	階段を下りていたところ、転倒し、重傷を負った。 事故原因は、かかと先端部に使用されていた樹脂に成形不良があったため、歩行中に樹脂が破損して外れ、樹脂を製品本体に留めるための金属芯が露出したものと考えられる。それに気づかず階段を降りていた際に、階段に引っかかり転倒したものと考えられる。	愛知県	平成20年5月23日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200800211	平成20年5月25日	平成20年5月30日	介護ベッド用手すり	KA-089	パラマウントベッド株式会社	重傷1名	当該製品のスイングアーム内の隙間に頭が入った状態で発見された。事故原因は、当該製品のアーム内には頭部を横にすれば入り込めるほどのすき間があった。スイングアームが90度を開いた状態で固定されており、どのような経緯で入り込んだか不明であるが、頭部がすき間に入り込み、抜けなくなったものと考えられる。	兵庫県	平成20年6月3日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A200801158	平成21年1月18日	平成21年1月27日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	IR-4291	株式会社アイアン(輸入事業者)(倒産)	火災	当該製品を使用中に火災が発生した。事故原因はスイッチ部の不具合で接触不良が生じて異常発熱し、発火に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成21年1月30日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A200900600	平成21年10月8日	平成21年10月28日	生ごみ処理機	Re6	ヤンマー株式会社	火災	当該製品が出火元とみられる火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。事故原因は、ヒーター貼付部の浮き上がりやヒーター線の損傷による局部的発熱により、断熱材が劣化し、難燃性能が低下して、ヒーター線のショートした際に断熱材に着火したものと考えられる。	長野県	平成21年10月30日に製品起因が疑われる事故として公表していたもの 平成22年3月17日からリコール実施
A200901115	平成22年3月1日	平成22年3月11日	電気温風機(セラミックファンヒーター)	HX-C3S-BK	シャープ株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、その後出火して当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	広島県	
A200901122	平成22年3月2日	平成22年3月12日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	FS-900T	燦坤日本電器株式会社(輸入事業者)	火災	外出から戻ったところ、当該製品から出火する火災が発生していた。当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。	福岡県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200901116	平成22年2月28日	平成22年3月11日	電気冷蔵庫	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A200901118	平成22年2月28日	平成22年3月12日	IH調理器	火災 軽傷1名	当該製品で揚げ物を調理中、その場を離れていたところ、鍋から出火し、周辺が焼損する火災が発生した。消火の際に火傷を負った。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
A200901119	平成22年3月5日	平成22年3月12日	IH調理器	火災	当該製品で揚げ物を調理後、鍋から出火し、周辺が焼損する火災が発生した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A200901121	平成22年2月28日	平成22年3月12日	電気式床暖房(ヒーターパネル)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、床下から出火する火災が発生しており、当該製品の電源ケーブル接続部及び周辺が焼損した。設置状況も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A200901123	平成22年2月23日	平成22年3月12日	歩行補助車	重傷1名	当該製品を使用中、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	香川県	
A200901124	平成22年2月28日	平成22年3月12日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。出火元も含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A200901125	平成20年8月22日	平成22年3月12日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	茨城県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件

該当案件無し

歩行補助車（管理番号：A200800068）



1次ロック
(ロックが掛かっている)



2次ロック(開)
(ロックが掛かっていない)



2次ロック(止)
(ロックが掛かっている)



靴（パンプス）（管理理号：A200800170）



介護ベッド用手すり（管理番号：A200800211）
（製品本体）



（取り付け図）



生ごみ処理機（管理番号：A200900600）



電気温風機（セラミックファンヒーター）（管理番号：A200901115）



電気ストーブ（ハロゲンヒーター）（管理番号：A200901122）

